

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りんご園		
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日		～ 令和7年10月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日		～ 令和7年10月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自己肯定感を高めるために、従業員が一丸となって、ほめて伸ばすこと、愛情をたくさんそそぐこと。リトミック・音楽療法や外部講師を招聘して、様々な感覚刺激をおこなうこと(絵画、料理、英会話、フラダンスなど、個性豊かな講師による利用者を楽しませるカリキュラム)。	利用者との信頼関係の醸成を意識的に行っている。 みんなでほめる、笑顔で接する、一緒に楽しむようにしている。	保護者同士のネットワーク構築、孤独感の軽減、親子の愛情形成の促進、兄弟支援のため、土曜日に親子参加型のカリキュラムを導入しました。 支援計画をさらに具体的に分析し言語化して職員でなにするべきかを共有するために、AIによる具体策の企画立案レポートの作成システムを構築中(AIはジェミニを使用)。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	りんご園					公表日	令和7年10月30日			
					利用児童数	32		回収数	22	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1			広々としたスペースと個別スペースが確保されています。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20			2	不足していると感じたことはありません			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1		2	靴箱や荷物入れ等、こどもたちがわかりやすい工夫がされています			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22				明るく清潔です			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22				個別対応で個人に合わせた支援をしている			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22							
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21			1				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20			2				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20			2				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20		1	1	毎日、違うプログラムが組まれていて色んな習い事をしている感覚です。みんなでやるプログラム内容がもっと多様だと嬉しい。			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	4	2	5				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21			1				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21			0 無回答 1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2	4	5				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	22				日々 LINEで写真や様子を報告しあえます			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	4		1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21			1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	3	6	5				
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17			5					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	3		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1	1	7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	4	1	8		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16			6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1		5		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21			1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20			2	毎日 たのしそうです♪	
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1		1	大変満足です。いつもありがとうございます。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 りんご園

公表日 令和7年10月30日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2 無回答2		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0 無回答2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	カリキュラムに応じて、事業所の空間を演出している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	2 無回答2	職員が利用者へのサービス改善への視点を持つように意見交換している。	さらに職員が参画できるようにしていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	改善点を発見するための重要資料と位置づけている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0 無回答1	普段から活発に意見交換している。 職員意見や現場の問題点を重視している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2 無回答3		第三者の外部評価体制を構築する
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0 無回答2	具体的な療育のカリキュラムを執行するために研修をおこなっている。療育の内容の理解がなくては効果がでないで、研修普段業務中でもノウハウを伝授している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0 無回答1	事業所実施のプログラムやいろいろな外部講師の支援プログラムがあり、利用者等に伝えている。	支援プログラムの作成は重要で力を入れている。外部への公表は、堺市を通じて公表しているが、独自にももっと公表することが必要と感じている。HP強化。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	これまでの支援計画に加えて、より具体的に事業所サービスに即した詳細なレポートをAIを使って資料作成し、療育の効果をより高めることに取り組んでいる。現在基礎資料収集、プロトコル作成中。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	はい。子供の利益を最大化するために、多くの意見が基礎にある必要があります。普段から意見収集しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	はい	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0 無回答2	一般化されたヒアリングシートや日誌からも情報収集しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0 無回答1	利用者のフェーズに応じて、適切に設定されるようにいつも注意しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1 無回答1	はい	

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0 無回答 2	つねに新鮮な新しい経験をしてほしいと思っ ていますから、内部外部職員共に飽き られないようがんばっています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	個別、集団ともに組み合わせていますし、 集団活動のなかに個別活動としての要素も 取り入れて支援するようにもしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行って いるか。	8	0	はい	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0 無回答 1	はい	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に つなげているか。	7	0 無回答 1	はい	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性 を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1 無回答 2	はい	
関係機 関や保 護者 との連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0 無回答 2	はい	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0 無回答 3	連携して支援を行う体制を整えるだけでな く、実際に関係機関と頻繁にコミュニケー ション、研修もおこない実行している。	相手方があることなので、関係機関との 連携にはどうしても限界がある。 そういう壁を突破していかないといけない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の 観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども 園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報 共有と相互理解を図っているか。	6	1 無回答 1	当法人、事業所では、利用者ファーストの 視点で常に動きます。	関係機関と相互理解には常に務めています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1 無回答 4	はい	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携 を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受け たり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極 的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスー パーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	1 無回答 5	はい 一部職員が直接助言を受けています。 適宜、他の職員にも助言を踏まえた指導等 をしています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこども と活動する機会があるか。	4	2 無回答 2		施設内での療育がメインで、外部のこども との交流はほぼない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	8	0	はい。画像、動画など直接的な情報を提供 し、ほか紙ベースやメールなどで状況 を把握してもらっています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。	3	2 無回答 3	土曜日に親子で参加してもらうプログラム をはじめました。	情報提供には努めている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	8	0	はい	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊 重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家 族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	はい	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者 から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	はい	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0 無回答 1	はい	保護者等との信頼関係の構築などの基礎を固めることに今後も努力をしなければならない。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2 無回答 2		できていない。 療育効果はご家庭での対応があればこそ、発揮されるもの。家庭の支援に今後、注力していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	はい	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0 無回答 1	はい。日々の活動内容を保護者に画像、動画で伝えています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0 無回答 1	はい。個人情報の管理には注意しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0 無回答 1	はい	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3 無回答 2		今後、地域住民を行事に招待すること等は検討します。リスクの観点も考慮し、どうすれば地域に開かれた事業運営をしていけるか考えます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1 無回答 2	紙資料配布にて周知している。普段の行動にマニュアルからの学びを反映させようと改善し、意識を醸成するようにしている。	家族等への周知を強化する。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2 無回答 2	非常災害の発生に備え、定期的に訓練している。 避難場所の確認は、常に周知確認している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0 無回答 2	はい	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0 無回答 1	はい	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2 無回答 2	予防的視点から、意識づけ、注意喚起をしている。	安全計画の策定はしている。日々のコミュニケーションにおいて注意喚起しているが、特化した研修、訓練がかけられている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0 無回答 3	安全計画については、周知している。	紙資料の配布のみによって家族との連携まで図られるとは考え難いので、普段の送迎時のコミュニケーションにて適宜に問題意識を育むことをする。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1 無回答 2	ヒヤリハット集を作成している。	再発防止への方策について検討はしているが再発防止のために具体的な作業標準にまで策定落とし込むことまで踏み込む必要がある。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0 無回答 1	虐待防止マニュアルを利用し、虐待の本質を理解するように促している。また、現代の権利意識に合致する行動規範とはなにかを常に模索している。	個人々の行動規範にかかる意識・認識のズレの修正。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0 無回答 2	原則、身体拘束はしない。やむを得ない場合、必要最小限にし、利用者にはやさしく対処している。 身体拘束については説明している。		